

県民の安心安全へ 長崎の発展に寄与

長崎県管工事業協同組合連合会
理事長 谷村 正夫



謹んで新春の祝辞を申し上げます。旧年中は長崎県管工事業協同組合連合会へ格別のご厚情を賜り、心よの御礼申し上げます。

ここ数年に亘り続きました長崎の100年に1度となる変革期は、ハードの面で落ち着いた状況にあります。新たな課題が生まれてきていま

す。一方、既に始まった、ソフト面の変革へとスイッチされ、整った施設を活用する動きに期待されています。ハード面が整った昨年頃より、全国的な各種催事を長崎開催として希望する声を多く聞くようになりました。全国大会を始め、地方地区の大会や会議に研修会を兼ねた旅行、中には委員会といった小規模単位の催しでも長崎で開催したいとの声があがっており、嬉しく思います。全国的な大会や催事が長崎で行われている中、我々業界団体に関連する日本水道協会全国会議が本年に長崎市で開催する事となり

ました。昨年、広島市で開催された際に訪問しましたが、初めて見聞きする展示も多くあり、水道技術の目まぐるしい発展に感動しました。今年も昨年同様に研究発表会や水道展が予定されており、長崎市での開催である事を含めて楽しみにしています。こうした長崎の変革が目される事によって催事開催や訪れる方も多くなっており、長崎がより良く変わっているのを実感しています。

我々業界は100年に一度の変革期で大きな恩恵を頂きました。それは財政面だけでなく経験や自信といった無形の財産であり、稀な機会で得られた目に見えぬモノは貴重だと感じて、この無形の財産を次へ繋ぐ事が将来の発展になると考えます。

かたちを変えつつも変革期は続きますが、我々は存在意義の一つである「県民の安心安全を守る」「美味しい長崎の水をお届けする」の使命で長崎の発展へ寄与します。

結びに、世界平和を願うとともに、本年が皆様へより良い一年となることを祈念します。加えて、弊連合会に対して倍旧のご支援とご協力を賜りますようお願いし、念頭の挨拶とさせていただきます。

社会のニーズに対応 日々研さんに努める

一般社団法人長崎県空調衛生設備業協会
会長 平 一成



のこととお慶び申し上げます。旧年中は当協会へのご理解、ご協力また暖かいご鞭撻を賜り、誠にありがとうございました。

昨年、明けておめでとうございます。皆様方におかれましては令和8年新年を健やかにお迎え

ました。昨年、広島市で開催された際に訪問しましたが、初めて見聞きする展示も多くあり、水道技術の目まぐるしい発展に感動しました。今年も昨年同様に研究発表会や水道展が予定されており、長崎市での開催である事を含めて楽しみにしています。こうした長崎の変革が目される事によって催事開催や訪れる方も多くなっており、長崎がより良く変わっているのを実感しています。

数となり、これまでエアコン設置が少なかった北海道でのエアコン需要が急激に伸びたことが報告されました。

私の記憶で恐縮ですが、中学校時代に自宅でエアコンなど使用しなかったことを考えますと、明らかに気候温暖化が進んでいることが明らかであり、皆様方の生活空間を担う私共の責任はさらに重要だと認識する次第です。特に『建物省エネ法』が昨年より施行となり、建物のZEB、ZEH化をより推進していく所存です。

また、我々の役割でいいますと、小中学校体育館の空調整備が今年度以降の喫緊の課題であると言えます。昨年は

8月に熊本地区の豪雨の被害により、全壊27棟、半壊2607棟、一部損壊5654棟のほか床上・床下浸水の被害が報告されましたが、避難場所である、地域の学校体育館の空調は整備されておらず、体育館に避難された方が夜間、気温が高く令和元年にエアコン設置された教室で夜を過ごされているとのテレビ報道もあり、本県でも整備を急ぐべきと痛感しております。

学校体育館の空調整備については県内各自治体と情報交換し、当協会会員とも協力しながら対応する所存でございます。

また、昨今の日本の安全保障はより複雑化し、国の防衛

予算も増額となつていますが、防衛省管轄の県内駐屯地施設整備についても、整備が急がれているところでございます。各関係団体との情報交換を密にして、対応致したいと思っております。

私共の空調・衛生業界はコロナ禍以降、社会からのニーズがより高い業種となっており、会員一同その社会的ニーズに対応できるよう、日々研鑽に努めております。今後も、皆様のご理解とご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。最後となりますが、今年1年皆様方にとって良き1年となりますよう祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

さらなる高みをめざして

長崎県ジオファイバー協会
長崎県ニューレスプ協会
会長 松本 英睦



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご高配を賜り心より御礼申し上げます。

2025年は、国内外で新しい価値を生み出す動きが加速し、建設業界にも大きな変革が訪れた一年だったのではないのでしょうか。こうした変化は、世界の知恵と技術が集う「万博」のように、多様なアイデアが交わり、新しい未来を切り拓く力となっております。

私たちの現場でも新技術の導入やDX化が進み、より高品質で安全な施工をめざす取り組みが加速しました。建設業は地域社会の基盤を支える誇りある産業です。

毎年記録的酷暑を更新するなか、現場で働く一人ひとりの努力が街づくりを支えています。厳しい環境の中で、確かな技術と責任感をもって仕事に臨む姿勢、現場力こそが、街づくりの原動力であり、未

来を築く力です。

2026年は、これまで培ってきた技術と新しい発想を融合させ、さらに魅力ある安心して暮らせる街づくりに貢献して参ります。

世界が注目した万博の精神を胸に挑戦を続け、未来に誇れる仕事を積み重ねて参ります。

結びに、皆様のご健勝とさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

